

2012年
7月15日

No.145

さざなみ

〒520-0043
大津市中央1丁目5-25
小堀マンション2030号室
さざなみネット
(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

金融ユニオン第6回中央執行委員会 雇い止め・パワハラ・男女差別など労働相談相次ぐ

7月8日、金融ユニオン第6回中央執行委員会が、愛知労働組合において開催されました。さざなみネットから山崎書記長が参加しました。

(議題)

・活動報告

東京・大阪などで、雇い止めやパワハラ・男女差別などの労働相談が相次ぎ、数名が組合に加入されました。特にメガバンクやその関連会社で、過酷な労働条件・複雑な人間関係となっています。

諸会議での討議不足、決定事項の連絡不足などから、誤解や意見の相違が起きています。それぞれの役割を再確信し、更に民主的な運営となるよう努力していく必要があります。

・本部役員の選挙結果・任務分担について

選挙結果を確認し、任務分担を討議しました。

・機関紙について

活動の写真・職場だより・旅行記・図書紹介など分担を決め、より読みやすく身近な機関紙にしておくことを決めました。

・今年度の財政について

現状の報告を受け、来期の見通しなどについて討議しました。

・その他

第4回定期全国大会の日程、役員体制、代議員数などを確認しました。

(場所)

豊橋市民センター
(カリオンビル)

(日時)

8月25日(土)
午後1時から



豊橋市民センター(カリオンビル)

愛知労働会館前に大相撲の興業のほり



岩波 美智子さん 画

会議のため愛知労働会館に着いたところ、いつもと違う光景にびっくり。1日から始まっている大相撲名古屋場所の北の海部屋の宿舎が、この労働会館にあるとのこと。あげられているのほりをよく見ると、大津市出身の鳩の湖関の名前が見えます。

本館の駐車場奥によしずで仕切られ、土俵とちゃんこ場などがあり、約1カ月間お相撲さんの姿が見られ、鬘付け油の匂いが立ち込めるとか。残念ながら姿や匂いには気付きませんでした。

小中学生時代、学校に大相撲の地方巡業が来、見に行ったのを思い出しました。



愛知労働会館東館前

近畿地協第9回常任幹事会 定期大会を10月27日に開催 決定

7月21日、近畿地協第9回常任幹事会が全損保大阪地協事務所で開催、近畿各地から13人が集まりました。さざなみネットからは山崎書記長が参加しました。

金融労連中央執行委員・金融ユニオン中央執行委員・近畿地協事務局・各単組支部分会から活動報告がありました。

(議案)

- ・近畿地協定期大会について

10月27日(土)

午前11時から午後4時まで

各組合・支部・分会からこの

1年間の総括の報告を受け、大会議案の予備討議をしました。



金融労連中央執行委員の活動報告から 南日本銀行の全面的労働条件改悪提案について

南日本銀行は「行職員の満足度を充足したメリハリある」と称して、人事諸制度の改悪提案を出してきました。内容は、①就業時間を延長、午前8時30分～午後5時30分とすること(1日8時間労働)。

②連続休暇、夏期休暇、冬期休暇の特別有給休暇扱いを廃止し年次有給休暇での取得に変更する。

③定例給与引き下げを伴う給与制度の改悪、定昇額の見直し、諸手当の廃止、などなど、全面的な労働条件改悪です。

南日本銀行従組を支援するとともに、他に広がらないように、全体で取り組んでいく必要があります。

【談話】消費税大増税、社会保障改悪法案の採決強行に抗議する

6月26日午後の衆議院本会議で、消費税率を10%に引き上げることを中心とする「社会保障・税一体改革法案」が採決され、民主、自民、公明党などの賛成多数で可決された。

法案採決で与党・民主党所属議員57名が反対票を投じたことに示されるように、09年総選挙公約を完全に投げ捨てて増税にひた走った野田政権への批判が高まる中での強行可決であった。

全労連は、13兆円以上とされる消費税大増税が労働者の暮らしをさらに悪化させ、デフレ経済を深刻にすることを強く懸念する。

法案審議が全く不十分なまま憲法第25条の生存権規定に抵触する恐れが指摘される「社会保障制度改革推進法案」の採決強行は、法案決定の経過も含め、議会制民主主義を否定する暴挙と言わざるをえない。

社会保障給付を消費税で賄うとする枠組みは、公租公課の応能負担原則を形骸化させ、富の再配分機能の低下による格差の拡大となること必至である。

「認定子ども園」の活用を中心とする「子育て支援法案」では、都市部における待機児童は解消されず、保育の質の後退は避けられない。

採択された法案は、個別にも多くの問題を含んでいると同時に、全体は一体改革の名に値しない消費税大増税法案である。

全労連は、改めて、法案の強行採決に抗議する。成立阻止をめざし、参議院段階のたたかいを全国で強化する。

法案採決で賛成票を投じた国会議員への抗議を、地元から集中しよう。すべての参議院議員の地元事務所に足を運び、一体改革関連法案の成立阻止を訴えよう。

毎週水曜日に予定される国会前行動に署名を集中させるため、各地での宣伝、署名行動を強化しよう。

宣伝カーを運行し、消費税増税、社会保障改悪反対の世論をさらに高めよう。要求の一致点での共同を大きく前進させるため奮闘しよう。

「デフレ経済下での消費税増税は無謀」との声は、流通業界などからも出始めており、財界も一枚岩ではない。日本弁護士連合会が、社会保障制度改革推進法案の違憲性を指摘する会長談話を出すなど、法案の杜撰さも指摘されはじめている。法案採決直前の6月23日には、悪政に怒る国民24,000人が東京・明治公園に結集した。たたかいはまさにこれからである。

民主、自民、公明の大増税連立、談合政治を厳しく批判し、「国会解散で国民の信を問え」の世論も高め、世論で情勢を変えるために、全国の仲間の奮闘を心から訴える。



2012年6月27日

全国労働組合総連合

事務局長 小田川 義和